

第2回 瀧覚坊と和田氏

3回シリーズ
の2回目です

岩滝まちづくり協議会
会長 取替 惣一

概要（瀧覚坊について）

鎌倉時代、北条氏の策略にかかって御家人の和田氏が滅ぼされ、かろうじて逃れた和田氏の一族が岩滝地域に移り住んだと伝わっています。

昭和8年（頃）、大阪にある観心寺を研究されている富賀鹿蔵氏とみがしかぞうから「楠木正成くすのきまさしげの師である観心寺の高僧瀧覚坊ろうかくぼうは和田氏一族で、岩滝出身と思われるので調べてほしい。」と、大八賀村役場に話がありました。

役場でこの話の窓口になった倉善次郎氏くら ぜんじろうは、岐阜県史蹟調査委員角竹喜登氏すみだけよしのりに調査を依頼し、富賀鹿蔵氏と往復書簡を交わしながら調査されました。

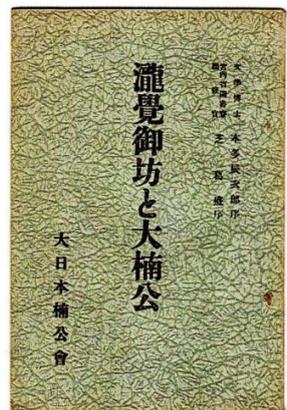
その結果、観心寺に伝わっていることと一致することが多く、瀧覚坊は岩滝出身と分かり、昭和9年5月に調査報告書が作成されています。

当時、このビッグニュースに岩滝も大八賀村も大変盛り上がり、瀧覚坊600回忌法要が盛大に行われたそうです。昭和11年5月には下写真の「瀧覚御坊と大楠公だいなんこう」という小冊子（内容30ページ）が印刷され配布されています。

現在では当時のことを知る人はほとんどなくなり、瀧覚坊や和田氏の話は次第に歴史から消えていくようです。

今回の岩滝歴史講座では、鎌倉を訪れて和田氏について調べてみえた田中彰先生にお願いして、瀧覚坊や和田氏のことを話していただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

記



日時 11月13日（木）午後7：30～8：30

場所 岩滝公民館 2階会議室 講師 田中 彰 先生

※ 参加を希望される方は、下の用紙を11月11日（火）までに岩滝公民館へ提出願います。

キリトリ

11/13 岩滝歴史講座に出席します。

お名前